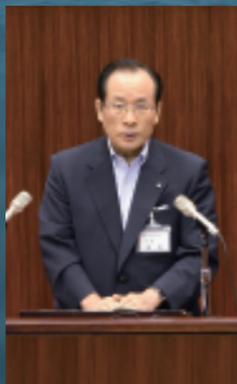


市政の重要事項の報告



「三浦地区みなとまちづくり計画」の事業提案の公募

三浦地区で進めている「旧ポートルネッサンス21計画地区」の土地活用については、平成21年11月に前回の公募における事業予定者が撤退して以降、土地活用方策の再検討のため、庁内に内部検討会議を組織し、企業動向や市民意識等を調査しながら、昨年12月に、旧ポートルネッサンス21計画をいったん白紙に戻し、新たに「三浦地区みなとまちづくり計画」を取りまとめました。

その後、新たな土地活用方針に基づき、前回の公募用地を中心とする「みなと交流エリア」について、早期のまちづくりとにぎわい創出を行うため、参画していただく民間事業者の公募準備を進めてきましたが、このたび公募案を示すことができる状

況となりましたので、概要を説明し、議会の意見をいただいた後に、公募を開始したいと思っております。

まず公募の趣旨としては、本市の玄関口である三浦地区に、市民や観光客の皆さまが集い、にぎわう新たな場所を民間活力の参加を得て創造し、本市の経済の活性化を目指していきたくと考えているもので、既存市街地との連続性や回遊性が生まれるような提案をいただきたいと考えています。

公募の条件としては、前回は売却方式のみとしていましたが、地元をはじめ事業者の方々が参画しやすい環境づくりの一つとして「事業用定期借地方式」も導入します。また、何らかの形で市内の企業が関わるような応募資格を設けたいと考えています。

こうした条件の下で提案していただく事業計画については、市において審査を行い、事業予定者と次点者を決定し、仮に事業予定者が撤退するようなことがあったとしても次点者に権利を引き継ぐことができるようにしたいと思っております。

このようなことから、8月12日に市議会議長とともに外務省を訪問し、本市に対して事前に説明がなかったことは甚だ遺憾であり、今後、適切な情報の提供と開示を強く求めるとともに、さらに、現在保管されている廃棄物の安全性の確保はもとより、政府とされてもできるだけ速やかに適切な処分がなされるよう強く要請しました。

なお事業の実現性や継続性、あるいは、みなと佐世保にふさわしい景観といった専門性の高い分野につきましては、外部の専門家の評価を参考にしながら、審査したいと考えています。

市としては、このような内容を基本として今後、公募手続に入っていきたいと思っております。

米海軍佐世保基地における低レベル放射性廃棄物の保管

去る8月4日、米海軍佐世保基地内に低レベルの放射性廃棄物が保管されているとの情報があり、外務省に事実関係を確認したところ、「佐世保基地内に保管している物質は、米軍が東日本大震災での、いわゆる『トモダチ作戦』で活動した航空機等を除染した際に使用した布等の廃棄物である。これらは福島第一原子力発電所事故由来のものであり、東京電力を含む日本側が責任をもって処分すべきものであって、現在その具体的な処分の方法について日米間で協議している。また保管されている廃

対応していただいた山花都夫外務大臣政務官は、連絡が遅れたことを謝罪した上で、外務省としてできるだけ早い処分が可能になるよう日本政府内で検討し、それに基づく日米間の協議を加速させていくことを表明されました。

市としても、市民の皆さまの不安の解消に向けて、適時適切な情報の提供を含め、一日も早い処分について市議会とも連携して国に対応を求めていきたいと思っております。

佐世保勢の活躍



- 1 「第25回全日本小学生女子ソフトボール大会」(7月30日～8月2日、三重県)で、2年ぶり3回目の優勝を果たした佐世保ひまわりソフトボール部
- 2 「2011スペシャルオリンピックス夏季世界大会」(6月25日～7月4日、ギリシャ)バドミントン競技・男子ダブルス第2クラスで優勝した中村英樹選手
- 3 「第38回全日本中学校陸上競技選手権大会」(8月19～22日、奈良県)

- 男子3,000mで優勝した坂口裕之選手(日宇中学校3年)
- 4 「第46回世界アーチェリー選手権大会」(7月3～10日、イタリア)で16強入りを果たし、ロンドンオリンピック女子個人の出場権を獲得した早川澗選手(佐世保商業高校職員・県スポーツ専門員)
- 5 「全国高等学校総合体育大会」(8月9～11日、青森県)アーチェリー競技女子個人で優勝した永峰沙織選手(佐世保商業高校3年)